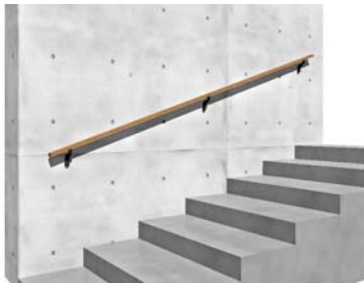
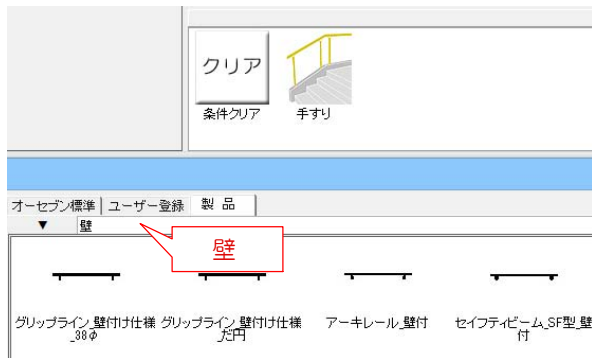


壁に手摺を付ける方法

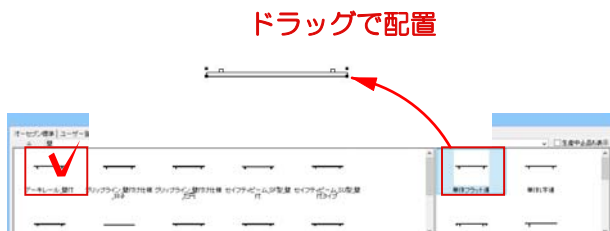
壁付けタイプの手摺を作成する方法をご説明します。



壁付用の手摺を配置して 高さを調節する方法です



1：製品で壁付用の手摺を検索します。メーカー等決まっていない場合は種別だけ手摺を選択し、「壁」と入力すると壁付タイプの手摺が表示されます。

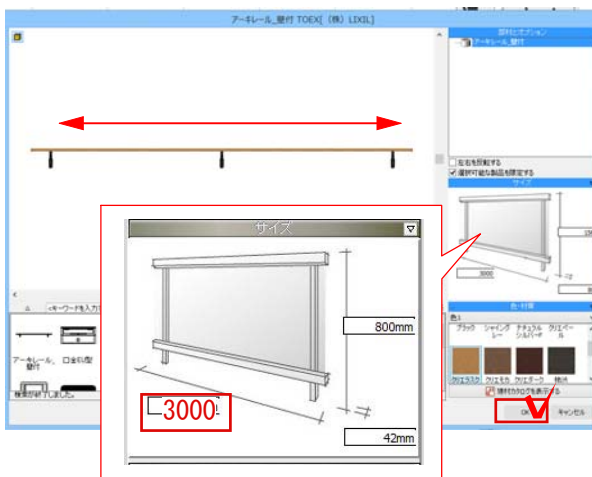


2：配置したい壁付用手摺の中の単体連の手摺を平面図上にドラッグで配置します。

例：TOEX〔株〕LIXIL
アーキレール_壁付 単体フラット連



3：手摺の上でWクリックします。

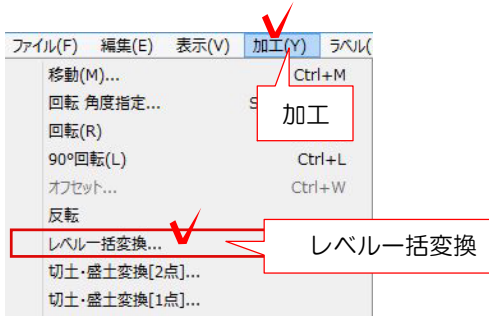


4：1500のSPANであれば、3000という形で入力するとSPANに合わせて柱が配置されます。
SPANが決定したら、OKボタンで画面を閉じます。

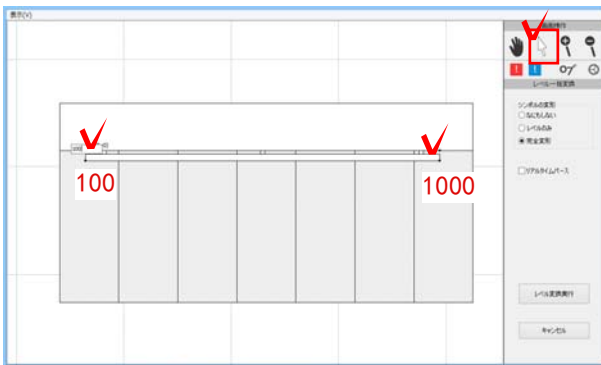



5：手摺を壁に沿って配置します。

6：配置した手摺をクリックで選択します。



7：加工からレベル一括変換を選択します。

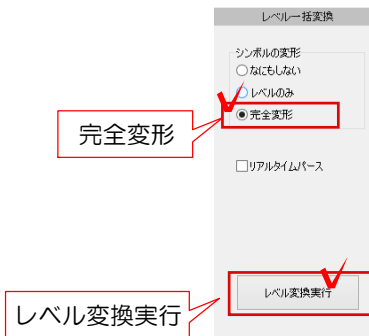


8：セレクションポインタ  を選択します。

9：レベルを入力します。


カーソルをレベル指定したい図形の頂点に近づけると、カーソルが + の形になります。

手摺の柱の部分をクリックして入力欄にレベルを入力してEnterを押します。
もう一方の柱をクリックしてレベルを設定します。



10：シンボル変換モードを完全変形にしOKを選択します。

※完全変形にチェックを入れた際に、このモードで変形した製品シンボルは eE-Formerで編集できるようになります

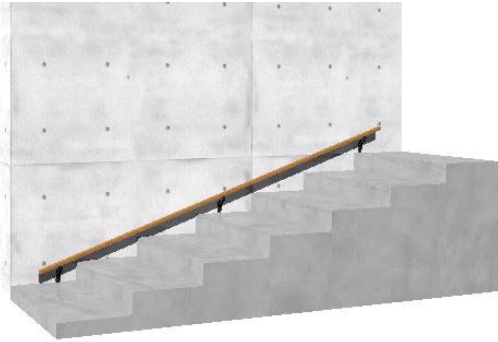
 レベル一括変換の詳しい説明は [「おすすめ&新機能→オーセブンCAD 11新機能→レベル一括変換」](#) を参照



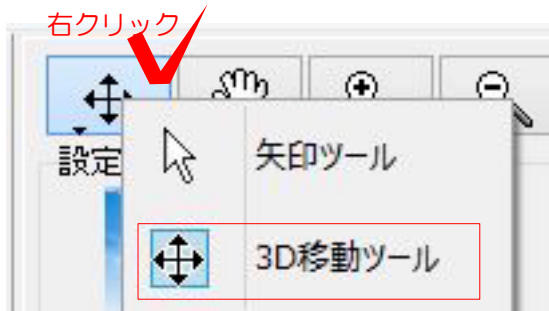
【入力するレベルを忘れたときは】



階段の断面図の部分で、1段目の天端と最上段の天端をあらかじめメモしておくことで計算なくてもすぐに入力する事ができます。



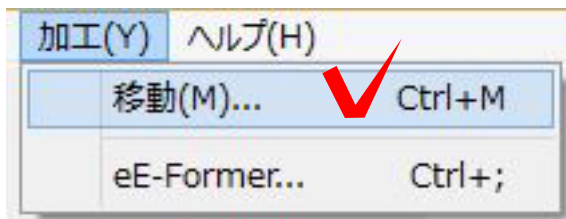
10：eE-Painterで確認します。
手摺がレベル一括変換で指定した高さに配置されています。



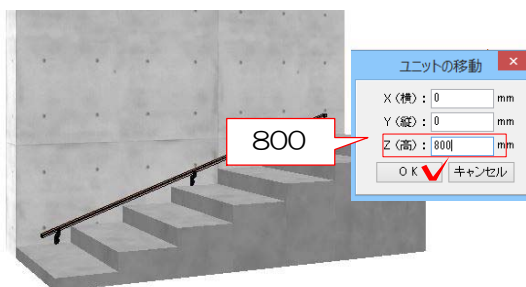
11：手摺の高さを変更します。（この作業は平面作図画面でも行うことができます）

画面右の矢印カーソルを右クリックし、3D移動ツールに変更します。高さを変更します。

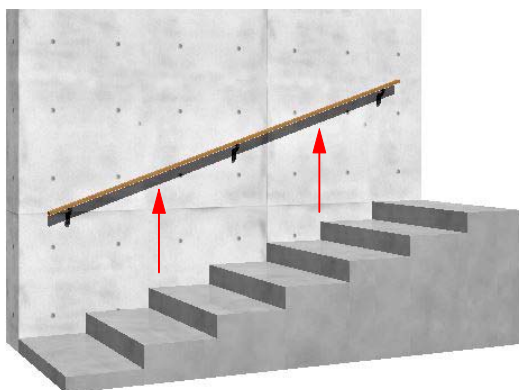
12：手摺をクリックして選択します。



13：画面左の加工メニューの移動をクリックします。



14：Z(高) に手摺を配置したい高さを入力します。
OKをクリックします。



15：高さが変わり、完成です。